

災害復興と建廃対策

本格化する撤去と処理②

岩手県は県民に対し、から22日まで「東日本
て7月末を締め切りに、大震災による岩手県災
災害復興基本計画案の 書廃棄物に係る処理計
パブリックコメントを 画の設計業務及び施工
募集する一方、6月15日 監理計画」を公募した。



広く散乱する災害廃棄物(仙台野)

同業務は県内
で発生した災害
廃棄物の処理の
うち、「解体・粗
選別・撤去・仮
置場・集積所・
処理・運搬・処
分」の工程につ
いて、安全性、
確実性、迅速性、
効率性、経済性
などを確保する
とともに、不測
の事態にも対応

し得る合理的な処理計
画の設計と施工監理に
ついて企画・提案する
もの、としている。
計画には既存の処理

に業界内で噂されてい
る沿岸部の災害廃棄物
を内陸部の処理施設に
搬送・処理する策や、
沿岸部の各被災地に船
で廃棄物を回収しに
行き、広域処理で対処
しようとの案が出てく
る可能性がある。

岩手、災害廃計画を具体化へ

6月22日に公募締め切る

入れる運びとなった。
県内の処理業者によ
ると「8月には具体的
な災害廃棄物対策の計
画が県から示されるの
ではないか」という。
今回の公募に対する選
定結果が反映されるこ
とになりそうで、すで
に業界内で噂されてい
る沿岸部の災害廃棄物
を内陸部の処理施設に
搬送・処理する策や、
沿岸部の各被災地に船
で廃棄物を回収しに
行き、広域処理で対処
しようとの案が出てく
る可能性がある。
内陸移動は一次処理
を自県内で実施できる
はセメント製造と並行
して災害廃棄物を受け

(つづく)